

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

です



事務所 中延2-11-7
日本共産党品川地区委員会
日本共産党区議団控え室

Tel.3783-8833
Tel.3785-2810
Tel.5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

平塚橋会館（西中延1丁目）に「特養ホーム整備」区が検討を表明

「八潮、杜松小跡に続く特養ホーム増設を」請願全会一致採択

今議会では「平塚橋会館に特養ホームの整備を前向きに検討する」と表明。私・鈴木は一般質問で「特養ホームの増設を」求めました。医療と介護をよくする会では「八潮・杜松小学校跡につづく特養ホームの増設を」の請願運動を行い、区議会全会派一致で採択。こうした取り組みが実現への力です。

17回の請願運動の力で新たに3つ目の特養ホーム実現へ

行財政改革担当課長は、10月4日の決算議会で、「特養ホームの整備は区にとって重要な課題と認識」「平塚橋会館について、特養ホームの整備も含め、前向きに検討する必要がある」と述べました。

平塚橋会館は、「平成24年度、耐震改修を予定している。西中延区営住宅

があるが、建物の構造上エレベーターの設置が難しい。敷地面積に対して施設の配置が有効に使われていない。仮に耐震改修をしたとしても近い将来に耐用年数に達してしまうという課題がいくつかある」「特養ホーム等の整備は平成23年度の緊急課題のひとつ。区有施設の有効活用を図りながら、重要

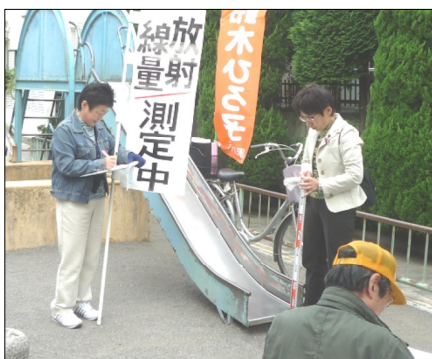
鈴木ひろ子地域で独自に放射能測定

育てるママたち
に不安が大きいことを実感。

品川区が区民の要望に応えるきめ細かな測定を行わない中、共産党区議団が独自の放射能測定を行いました。

次号以降のひろ子ニュース
でお知らせします。

鈴木ひろ子地域では、18日と21日に、公園や側溝など41箇所を測定。「この辺はどれくらいですか？」「子どもたちが遊ぶので植え込みも測ってほしい」「これで安心して遊ばせることができます」などなど次々に声をかけられました。特に小さい子どもさんを



課題を実現して行きたい」と述べ、平塚橋会館に特養ホーム整備の方向で検討がされることになりました。

「八潮、杜松小跡につづく特養ホーム増設を」の
 お願い 全会派一致で採択

品川の医療と介護をよくする会の「八潮、杜松小跡につづく特養ホーム増設を」の請願は、区議会で全会派一致で採択となりました。

今回で17回目となる特養ホームの増設を求める請願。14回までは、自民も公明も民主も無所属も反対し、不採択の連続でした。しかしねばり強い運動と共産党の論戦、区民の切実な実態から、3年前に品川区が「特養ホームはつくらない」との方針を「整備する」と変更。この時から与党の態度が変わり、請願も全会派一致で採択されるようになったのです。8年間にわたる運動と論戦が品川区と議会を動かしています。

一日も早い建設、さらなる増設を

下の表をご覧ください。申し

込んでも入所できる方はごくわずかというのが実態です。要介護5の方が、92人が申し込んでも入れたのはたった10人。90歳以上の方でも110人もの方が入れない現実。ここに品川区の深刻な実態が見えるのではないのでしょうか。

1日も早く、更なる増設を求めて引き続き声を上げていくことが必要です。

特養ホームの入所申請者と入所できた人の数と割合

	申し込み数	入れた人数	入れなかった人数
要介護3	185人	25人(14%)	160人
要介護4	153人	23人(15%)	130人
要介護5	92人	10人(11%)	80人
80～89歳	274人	23人(8%)	251人
90歳以上	142人	32人(23%)	110人

あたたかい品川区政をつくる
 みんなのつどい
 大震災・原発事故の教訓を
 品川区政にどういかにするか
 11月23日(水・祝)
 10時～16時
 荏原第五地域センター
 (下神明駅・大間窪小学校跡斜め前)



「社会保障と税の一体改革」ってなに？ 学習会に71名の参加
 10月15日(土) 18時～医療と介護をよくする会主催の学習会が行われ、71名が参加しました。

講師は、「難しい話を楽しくわかりやすく話してくれる」と評判の、谷本諭さん。医療、介護、年金、保育、生活保護、と社会保障切捨てのオンパレード。セットで消費税増税。来年の通常国会にも「10%」法案が出されようとしています。学習を力に、国民からの反撃を開始しましょう。

無料 法律・生活相談会
 11月22日(火)
 午後6:00～
 鈴木ひろ子事務所
 中延2-11-7 3783-8833
 弁護士さんが対応します。お気軽に